

5

プロ棋士から見た選手権 2010

広瀬 章人
日本将棋連盟

毎年恒例となっている「世界コンピュータ将棋選手権」、今回はコンピュータ同士の解説をするという貴重な機会に恵まれた(図-1, 2)。

年々進化し続けるコンピュータ将棋。大きな特徴としてまず挙げられるのはまず「詰み」だろう。ほとんどノータイムで詰ます光景は人間では考えられないほどの速さである。最近のコンピュータはそれだけではなく「大局観」が格段によくなったという。何気ないことのようにだがこれは将棋の実力向上に必須な条件なのだ。もっとも私はコンピュータ将棋を見る機会はほとんどなく、上記したような点を話に聞いていただけだったのでどのくらい強くなったのか個人的にも興味があった。今回解説して最も印象に残った将棋を紹介したい。

図-3の▲Bonanza Feliz - △習甦の一戦をご覧ください。この将棋は途中までタイトル戦でも出現した最新形で、正直私はこのことにより驚いた。というのは、コンピュータは力戦形になるイメ

ージが強かったからで、プロの最新形を指すようになったというのはおそらく最近のことなのではないかと思う。さて、今▲4三金と「詰めろ」をかけたところ。この局面、プロが見たら第一感「先手勝ち」と思う人が多いはずである。理由としては、後手玉はいかにも危なそうなのに対し先手玉は危ない形をしているものの、桂と香ではなかなか詰ますのは容易ではない、と思うからである。ところが実戦は後手の習甦が勝ちとなった。その手順をご覧ください。

図-3以下の指し手

△4五歩▲同玉△4四香▲3六玉△3二歩▲2四桂△3九竜▲3八飛△2四銀▲2二歩成△3八竜(図-4)まで後手の勝ち

この将棋を解説していた私は、この局面での投了をみて、「え!？」とってしまった。コンピュータが投了したということはもちろん詰みがあるのだろうと考えたのだが、パッと見では詰まないように見

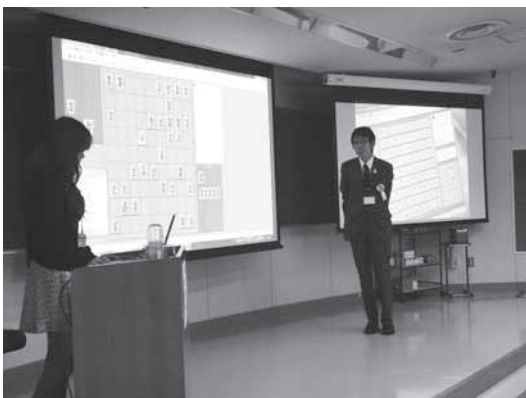


図-1 解説会場風景 1



図-2 解説会場風景 2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇				王	王			皇	▲ Bo
			飛						na
歩			歩	歩	金	飛	歩	歩	飛車桂歩
					歩				▲
		歩	歩			歩			二
		歩	馬	歩	玉				三
歩	歩				銀				四
		金		金					五
香	桂	銀	馬						六
									七
									八
									九

【第71手 ▲4三金 まで】

図-3 ▲4三金まで

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇				王	王			皇	▲ Bo
			飛			歩	と		na
歩			歩	歩	金			歩	角歩二
					皇		飛		▲
		歩	歩			歩			二
		歩	馬	歩		玉			三
歩	歩				銀				四
		金		金		馬			五
香	桂	銀							六
									七
									八
									九

【第82手 ▼3八龍 まで】

図-4 ▼3八龍まで投了局面

えたからだ。結局 20 秒ほど考えて解説場にあったパソコンに詰ましてもらおうという恥ずかしいことになってしまったのだが、図-4 からの詰みは予想を上回る鮮やかな手順であった。

図-4 以下の手順

▲3八同銀△4六飛▲2七玉△1五桂▲2八玉△3六桂▲1九玉△2七桂不成！▲1八玉△2八桂成▲同玉△3九角成▲2七玉△3八馬▲同玉△4九飛成▲2八玉△2七歩▲同玉△1五桂▲3七玉△3六銀▲同玉△4六竜まで詰み

手数が長くなってしまい恐縮だが、手順中の△2七桂不成手が私の発見できなかった手で、ここを△2七桂打としてしまうと詰まなくなってしまう。変化は多岐にわたり、それぞれ非常にややこしいのだが、ぜひとも盤に並べていただいて先手玉が詰んでいることを確認していただきたい。

正直なところをいうと、図-3～図-4にかけての手順が最善かどうかは分からない。ただ水面下に潜む変化は膨大なもので、今改めて読んでみても一手一手選択肢が広く難解な局面である。「一目先手勝ち」というプロ棋士の第一感があてにならないほどコンピュータ将棋のレベルは上がっているのだ。

今回の大会は激指の優勝で幕を閉じたが、その差はわずかでどこが優勝してもおかしくないハイレベルな戦いだった。こうしてコンピュータ将棋のレベルが年々上がっているのは、プログラマ同士が切磋

琢磨しながら毎年この戦いに挑んでいるのも大きな要因であろう。将棋に限らずライバルというものの存在は勝負の世界においては必要な存在なのである。

一昔前、コンピュータ将棋は詰将棋の世界でしか見せ場がなかったが現在は違う。詰将棋の正確さを武器とした終盤の実力に加え、プロ棋士の公式戦を参考に学習して序中盤で大差がつくことがなくなった。ここまで強くなったコンピュータ将棋が現役のプロ棋士にどれくらい通用するのか？ その戦いが今秋頃に始まろうとしている。コンピュータ将棋の真価が問われるのはここからであろう。

(平成 22 年 5 月 28 日受付)



広瀬 章人 yahirose@cilas.net

昭和 62 年 1 月 18 日生。東京都出身。勝浦九段門下。平成 10 年 6 級で奨励会入会。平成 17 年四段、平成 19 年五段、平成 21 年第 40 期新人王戦にて棋戦初優勝を飾る。平成 22 年六段。